

山形県にある火山

さいがい そな
～火山災害に備える～

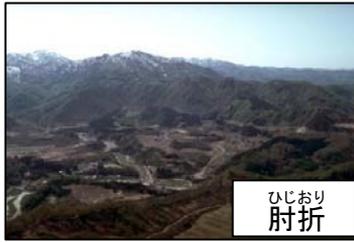
小学生用(上学年)

山形県内の活火山

活火山は、ほぼ1万年前以内にふん火したことがあるか、今も活発にふん気をあげている火山のことをいいます。ふん火した場合は、おそろしい災害を起こすことがあります^{さいがい}が、ふだんは美しい景色や温泉などで私たちを楽しませてくれます。



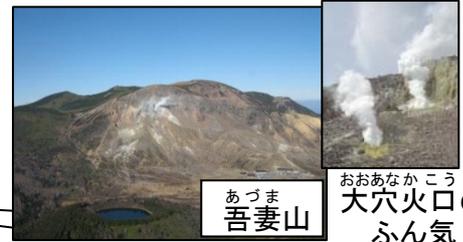
鳥海山



ひじおり
肘折



まるやまさわ
丸山沢の
ふん気

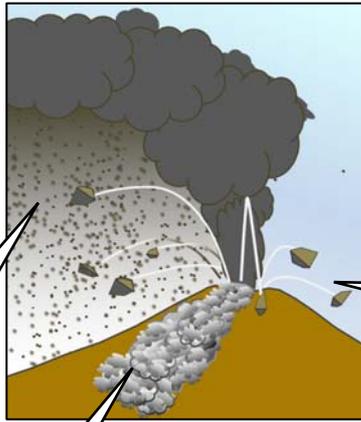


あづま
吾妻山
おおあなかこう
大穴火口の
ふん気

火山がふん火すると、こんなことが起こります。

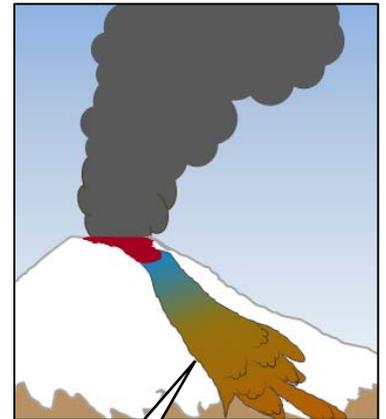
火山ばい

細かいすなのようなつぶが、風に流されて遠くまで飛び、積もります。



ふん石

ふん火のいきおいで岩や石がふき飛び、風によって町にふることもあります。



火さい流

火山ばいや石が、ふん火で出てくるととても熱いガスとまじり合い、高速道路の自動車のような速さで山を流れ下ります。

火山でい流

積もった火山ばいや石が、雨や雪がとけた水とまじってどろのようになり、自動車なみの速さで谷沿いに流れ下ります。



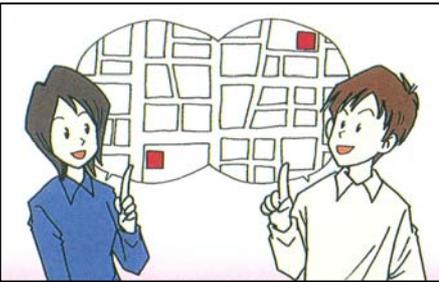
学校で勉強中に火山がふん火したら、先生の指示にしたがい、ひなんしましょう。



火山のふん火への備え



ふん火した時に、きけんな場所や、にげるところなどが書かれた地図(火山防災マップ)を見て、自分の家にどんなきけんがあるのかをたしかめておきましょう。



登山に行く前に、気象台ホームページなどで、家の人とふん火けいほうなどの情報を確認しましょう。

ひなん小屋や、ひなんするための道がどこにあるかも調べて、立入きん止のきけんな場所には行かないようにしましょう。



ふん火すると、風向きによっては小さなふん石が風に流されて遠くまでふるため注意が必要です。がんじょうな建物の中か岩陰に入れば、小さなふん石に当たらずにすみます。

登山のときは、大人といっしょに山を下りましょう。

みんなで話し合ってみよう！

山形県にある活火山を確認しよう(4つあります)。

学校で勉強中に火山がふん火したときは、どうすればいいですか。

火山がふん火したとき、自分の家にどんなきけんがあるのか、家の人と確認しよう。

発行：平成 29 年 6 月

発行者：山形地方気象台、山形県教育委員会

問い合わせ先：山形地方気象台 TEL:023-622-0632